



被災地の地域コミュニティを支えています

東日本大震災後に整備された応急仮設住宅などには、現在も7万人を超える被災者の方々が入居されており、これらの方々の生活支援や相談への対応は、各市町に設置された仮設住宅サポートセンターで行っています。県では、各市町のサポートセンターへの支援を行うとともに、災害公営住宅など、新たな生活の場における地域コミュニティ構築の支援などに取り組んでいきます。

震災から3年以上が経過し、今後は、仮設住宅から災害公営住宅などの恒久的な住宅(新たな生活の場)への被災者の入居が進んでいきます。しかし、仮設住宅において、見守りや支援が必要だった高齢者や障害者、日常生活を送る上で支援が必要な方が、新たな生活の場でも、引き続き支援を受けられるようにしなければなりません。

また、被災者が新たな生活の場となる地域の住民とつながりを持ち、相互に支え合って暮らすための、地域コミュニティの再構築も必要になります。

これらのことから、県では、今後も各市町のサポートセンターへの支援を継続するとともに、地域住民、行政、福祉サービス事業者、ボランティア、NPOなどがお互いに協力し合い、住民同士が支え合って安心して暮らしているような地域コミュニティの再構築への支援など、被災地における日常生活の支援を実施していきます。

被災者支援から地域コミュニティの再構築へ

県では、相談事例の共有化を図るため、各市町のサポートセンター間の相互ネットワークを構築するとともに、それぞれのサポートセンターをバックアップすることを目的に、「宮城県サポートセンター支援事務所(以下「県支援事務所」)を設置し、宮城県社会福祉士会への運営委託により、支援活動を実施しています。県支援事務所では、支援員の研修やサポートセンターの運営に関する相談・助言、専門職員の派遣などを行っているほか、宮城県社会福祉協議会や宮城県精神保健福祉士会、宮城県ケアマネジャー協会、関係するNPO法人などの協力団体との官民協働によるネットワークを築き、各団体間の活動(事業)の連携・調整を行うなど、被災者にとって各種の制度を活用しやすい環境づくりを目指して活動しています。

県支援事務所によるサポートセンター支援



生活支援員の研修会=南三陸町のサポートセンター



交流イベントの料理教室=岩沼市里の杜サポートセンター

被災した沿岸部の13市町には、応急仮設住宅(以下「仮設住宅」)の集会所などを活動拠点に、61カ所の仮設住宅サポートセンター(以下「サポートセンター」)が設置されています。各サポートセンターでは、生活支援員(以下「支援員」)が巡回訪問や交流セッションの場などを通じて、仮設住宅に住む方々の生活上の困りごとや健康などに関する相談に対応しています。一方で支援員を務めている方は、自らが対応困難な専門分野の相談などについて、各市町の専門職員(保健師やケアマネジャーなど)にその対応をつなぐ役割も担っています。

また、支援員の資質向上のための研修会や住民同士の交流を図るためのイベントなども開催しています。

サポートセンターの被災者支援活動

生活再建まで全力で支援します

住民とともに新たな創造

岩沼市里の杜サポートセンター
生活支援員・コーディネーター
青木 淳さん



岩沼市里の杜地区にある3カ所の仮設住宅(312戸、733人居住)を対象に、被災者の暮らしを支えている。戸別訪問と巡回による見守り、孤立防止を目的としたイベントとサークル活動、自治会と連携したコミュニティ強化の三つが主な活動だ。

「住民目線を常に心掛け、住民の懐に飛び込むような関わり方を目指しています。誰もが孤立感を感じないで過ごせる状況にしたい。イベントの料理教室にしても、住民のアイデアを積極的に取り入れ、楽しい参加型になるよう努めています」

4人のスタッフを率い、センター運営をマネジメントするのがコーディネーターの役割。みなし仮設住宅の被災者を支援する団体などや岩沼市、市の保健師関係者と連絡会議を密に開き、情報を共有して連携する。

「スタッフ同士が支え合い、他団体などと補い合いながら、充実した活動になるよう工夫しています。私たちは青年海外協力協会にも所属していることから、その特色や国際的視点を生かしたボランティア活動も取り入れています」

先行する玉浦西地区で集団移転が動きだし、新しいまちづくりを支援する活動も新たに始まった。

「新しいコミュニティづくりに関われるのは、やりがいがあります。住民の皆さんとチャレンジし、一緒に楽しみながら歩いていきたい」と、力強い口調で話した。

地域の「つなぎ役」を育成

宮城県サポートセンター支援事務所長
鈴木 守幸さん



宮城県内には被災者の生活支援や相談に当たるサポートセンターが沿岸部の61カ所にある。宮城県サポートセンター支援事務所は、被災者と仮設住宅などの現場で向き合う支援員を後方で支える。

「被災者が孤立しないように寄り添い、見守っているのが支援員たちです。ただ津波の被害が大きかった宮城県では、支援員が緊急雇用の受け皿となったこともあり、多くが被災した当事者自身が務めています。介護やヘルパーなどの経験のない人たちが登用されたので、研修などの支援が必要になりました」

被災者自らが被災者をサポートする態勢を官民協働のネットワークで支える仕組みは「宮城方式」として注目を集める。支援員は現場のニーズを的確に拾い上げ、専門職の対応に導く「つなぎ役」を果たしている。

「阪神大震災を経験した人たちが被災地に入り、サポート面で果たしてくれた役割も大きかった。住民感覚を持つ支援員が日増しに成長し、地域の中で問題解決に向けて力を発揮してくれました」

地域福祉でキーパーソンになった支援員の在り方は、仮設住宅移行後の地域コミュニティづくりでもモデルになり得るという。

「地域福祉の担い手を地域住民自らが務め、周囲で支えていく。地域の交流と福祉を融合させるには黒子が必要であり、人材育成が欠かせません」

被災者の目線で寄り添う

南三陸町社会福祉協議会
被災者生活支援センター事業課長
須藤 美代子さん



1700世帯以上が仮設住宅で暮らす南三陸町で、被災者支援に当たる。

「南三陸は、町民が生活支援員として、仮設住宅などで暮らす住民をサポートしています。福祉の専門知識を持つ人はほとんどいませんが、被災者同士なので寄り添った対応ができ、さまざまな意見を専門職に届けやすいのです」

町は、被災者の雇用と住民目線に立った支援を目的に2011年7月、一般町民参加型の被災者生活支援事業をスタート。現在は56人が生活支援員として、町内外58カ所の仮設住宅や230世帯のみなし仮設住宅の見守り、コミュニティ形成のためのお茶飲み会開催などを担っている。

仮設住宅で暮らす高齢者22人は、同じ団地の高齢者宅などを訪問し様子を見守る「滞在型支援員」として活躍。「見守る側のお年寄りにとっても外出の機会や生きがいになります」と期待する。

一方で「支援員は緊急的な措置」と須藤さん。先を見据え、見守りの一部やお茶飲み会の運営を、自治会や住民有志が担えるよう基盤づくりを進めている。

今後は、仮設住宅の枠組みを越えた交流の場を企画していく。「災害公営住宅の入居が8月から始まり、仮設住宅を出る世帯が増えていきます。仮設の住民が孤立しないよう地域とつなぎ、一体的に活性化することが重要だと感じています」

■企画 / 県広報課 ◎お問い合わせ / 県社会福祉課 022(211)2519

県からのお知らせ

平成26年度宮城県職員採用試験 (大学卒業程度・民間企業等職務経歴者)

民間企業などで培った土木に関する知識・経験を県政に活かし、活躍できる人材を求めています。

●職種・採用予定人員／土木・10人程度
●給与・待遇等／県の規定による
●申込受付期間／8月8日(金)～29日(金)(消印有効)
●第一次試験日／9月21日(日)
●受験申込書／県庁1階総合案内などで配布
☎ 県人事委員会事務局職員課
☎ 022(211)3761
http://www.pref.miyagi.jp/site/saiyou/

平成26年度宮城県職員採用試験 (短期大学卒業程度・高等学校卒業程度)

●職種・採用予定人員／【短期大学卒業程度】①学校事務・10人程度②警察事務・15人程度③建築・2人程度④機械・2人程度⑤電気・1人程度【高等学校卒業程度】①一般事務・30人程度②学校事務・10人程度③警察事務・10人程度④総合土木・15人程度⑤水産・2人程度⑥林業・2人程度
●給与・待遇等／県の規定による
●申込受付期間／8月15日(金)～9月5日(金)(消印有効)
●第一次試験日／9月28日(日)
●受験申込書／県庁1階総合案内などで配布
☎ 県人事委員会事務局職員課
☎ 022(211)3761
http://www.pref.miyagi.jp/site/saiyou/

平成26年度宮城県警察官B採用試験

●職種・採用予定人員／①警察官B(男性)・70人程度②警察官B(女性)・10人程度
●給与・待遇等／県の規定による

●申込受付期限／8月29日(金)
●第一次試験日／9月21日(日)
●受験申込書／県警察本部警務課、県内各警察署、県人事委員会事務局などで配布
☎ 県警察本部警務課
☎ 0120(204)606
http://www.police.pref.miyagi.jp/

県業務・採用試験説明会

●内容／県の業務や採用試験の概要説明、個別相談など
●対象／平成26年度宮城県職員採用試験(主に短期大学卒業程度・高等学校卒業程度および大学卒業程度・民間企業等職務経歴者)、平成26年度宮城県警察官B採用試験および平成26年度宮城県職員採用選考(獣医師など)の受験を検討されている方
●日時／8月5日(火)午後1時30分～4時05分
●場所／県庁2階講堂
●費用／申し込み／無料・不要
☎ 県人事委員会事務局職員課
☎ 022(211)3761
http://www.pref.miyagi.jp/site/saiyou/

中学校卒業程度認定試験

何らかの理由で義務教育諸学校に通えなかった人などが、中学校卒業程度の学力があるかどうかを認定するための試験を行います。合格者には高校の入学資格が与えられます。

●試験日／10月30日(木)
●試験会場／県本町分庁舎(漁信ビル)702会議室
●出願期間／8月28日(木)～9月16日(火)(消印有効)
●出願先／文部科学省生涯学習推進課
●受験案内／下記などで配布
☎ 県義務教育課
☎ 022(211)3642

指定管理者募集

県の施設「介護研修センター」ほか10施設を県に代わって管理する「指定管理者」を募集します。

●対象／県民に良質なサービスを安定的に提供し、公平で効率的な施設管理をしていた民間事業者や団体など
●募集期限／9月16日(火)
※募集内容、応募方法など詳しくは、下記へお問い合わせいただくか、ホームページをご覧ください。
☎ 県行政経営推進課
☎ 022(211)2239
http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/gyokel/

高校生地産地消お弁当コンテスト作品募集!

高校生が地産地消をテーマに地域食材を使用したお弁当を作り、地域食材の活用方法を競うコンテストの作品を募集します。入賞作品は、コンビニ各社の協力により、商品化が検討されます。

●対象／県内の高校および特別支援学校高等部等に在学する生徒3人または2人1組
●応募条件／多量の県産食材・加工品を使用すること、材料費を300円以内とすることなど
●応募方法／所定の応募用紙に必要事項を記入し、お弁当の完成写真を添えて、9月19日(金)までに持参または郵送(消印有効)により、下記へ
●応募用紙／ホームページからダウンロード
☎ 県食産業振興課
☎ 022(211)2813
〒980-8570(所在地記載不要)
県食産業振興課
http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/syokushin/

みやぎ自然環境サポーター養成講座受講生募集

●内容／講義「森林整備について」、林業機械(刈払機やチェーンソー)を使用した作業の実習
●対象・定員／18歳以上・20人(応募多数の場合は抽選)
●日時／9月21日(日)午前9時30分～午後3時
●場所／宮城県民の森周辺
●費用／無料
●申し込み／往復はがきに住所、氏名、年齢、性別、電話番号を記入し、9月11日(木)(消印有効)までに下記協会へ
☎ 宮城県森林インストラクター協会
☎ 022(255)8223
〒981-0121 利府町神谷沢字宮野沢41
http://mifi.main.jp
☎ 県自然保護課
☎ 022(211)2676

登米総合産業高校の校章デザインおよび校歌の歌詞募集

平成27年4月に、上沼高校、米山高校、米谷工業高校の3校と登米高校の商業科を再編統合した、登米総合産業高校が開校します。開校に伴い、校章デザインおよび校歌の歌詞を募集します。

●応募方法／所定の応募用紙に、校章デザインまたは校歌の歌詞を記入し、9月8日(月)までに郵送(必着)、Eメールまたはファクシミリ(校歌の歌詞のみ)により下記へ
●応募用紙／再編統合する上記4校などで配布またはホームページからダウンロード
☎ 登米総合産業高校開設準備室
☎ 0220(34)3851 FAX0220(34)3861
〒987-0602
登米市巾田町上沼字要害94 上沼高校内
ko-kaisetsu@pref.miyagi.jp
http://tomesou.myswan.ne.jp

がん予防と就労支援セミナー(人事労務担当者向け)

がんにかかった従業員が治療をしながら就労を継続し、また入院治療後にスムーズに職場に復帰できる環境を整えるため、人事労務担当者などを対象としたセミナーを開催します。

●内容／講演「がん専門医が語るがん治療・職場復帰の流れと職場のがん予防」(講師:がん拠点病院のがん専門医師)「がん就労者の抱える問題と職場における望ましい支援」(講師:国立がん研究センター 池山晴人氏)
●対象・定員／企業経営者、人事労務担当者など・各回80人(先着順)
●日時／①8月19日(火)②9月8日(月)③9月10日(水)④⑤⑥いずれも午後3時～5時
●場所／県庁2階第二入札室
●費用／無料
●申し込み／①8月11日(月)②9月1日(月)③9月3日(水)までに勤務先、業種、職種、氏名、電話番号、希望日を電話またはEメールにより下記へ
☎ 県疾病・感染症対策室
☎ 022(211)2638
Eメール situkan-g@pref.miyagi.jp

個人事業税の納付をお忘れなく!

今年の個人事業税(第1期分)の納期限は9月1日(月)です。最寄りの金融機関、各県税事務所またはコンビニエンスストア(金額30万円まで)で、忘れずに納付してください。納税通知書の発送は、8月15日(金)の予定です。

なお、第2期分の納期限は12月1日(月)です。個人事業税の納付は、口座振替にすると納め忘れがく大変便利です。ぜひご利用ください。

☎ 各県税事務所
☎ 県税務課
☎ 022(211)2324

ダムへのネーミングライツ(命名権)スポンサー募集

●対象施設／樽水ダム(名取市)、七北田ダム(仙台市)、宮城ダム(大和町)、惣の関ダム(利府町)、漆沢ダム(加美町)、上沢ダム(大崎市)、花山ダム(栗原市)、弘川ダム(南三陸町)、長沼ダム(登米市)
●命名権料／年間30万円以上(消費税は別途)
●特典／ダムの愛称を使用した看板の設置(ダム入り口など)、周辺道路案内看板による愛称の表示など
●募集期間／随時受け付け
☎ 県河川課
☎ 022(211)3172
http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/kasen/su-naming-rights-boshuu.html

宮城障害者職業能力開発校平成26年度委託訓練受講生募集

●科名／IT経理科
●内容／簿記会計の基本、パソコンの基本操作
●対象／障害者手帳をお持ちの方
●訓練期間／10月15日(水)～平成27年1月28日(水)
●選考日(面接)／9月25日(木)
●費用／教材代約1万円
●申し込み／9月12日(金)までに、お住まいの地域を担当するハローワークへ
☎ 宮城障害者職業能力開発校
☎ 022(233)3124
FAX 022(233)3125
http://www.pref.miyagi.jp/site/miyashou

みやぎ新規大卒等就職面接会

●内容／企業との面接、求人情報提供、職業相談、労働法セミナー
●対象／平成27年3月大学等卒業予定者および既卒3年以内の者
●日時／8月7日(木)午後1時～4時(正午から受け付け)
●場所／仙台サンパザホール
●費用／申し込み／無料・不要
☎ 県雇用対策課
☎ 022(211)2772

薬と健康のつどい

●内容／公開講演会、薬なんでも相談会、健康チェックコーナーなど
●日時／9月7日(日)午前10時30分～午後4時30分
●場所／せんだいメディアテーク1階オープンスクエア
●費用／申し込み／無料・不要
☎ 宮城県薬剤師会 ☎ 022(391)1180
☎ 県薬務課 ☎ 022(211)2653

宮城県立病院機構職員(事務)募集

●職種・採用予定人員／事務(社会人経験者)・若干名
●給与・待遇等／法人の規定による
●申込受付期限／9月18日(木)(消印有効)
●試験日／10月19日(日)、26日(日)
●試験会場／宮城県立がんセンター
●採用予定日／平成27年4月1日以降
※受験資格や年齢制限などがあります。
☎ 県立病院機構本部事務局企画総務課
☎ 022(796)1043
http://www.miyagi-pho.jp/

企画 / 県広報課